



備えあれば**憂い**...なし？



その1・保障の考え方

あればあるほど、より大きな安心を得られる「保障」ですが、保険料の支払いが日々の生活や教育・住宅・老後といった大切な資金を圧迫するようでは本末転倒です。5月・6月・7月と3回にわたって「保障」を備える際の、考え方をお知らせします。

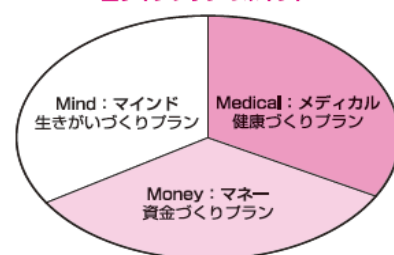
1、ライフプランを考えよう

近年、人生100年と言われるようになってきました。充実した人生を送るためには、3つのMのバランスが大切です

- Mind：マインド（生きがい）
- Medical：メディカル（健康）
- Money：マネー（お金）

自分がどんな人生を過ごしたいか、ライフプラン（人生設計）をたててみましょう。

■ライフプランのポイント

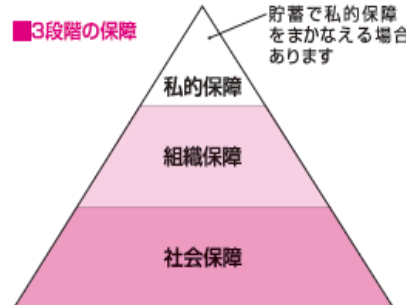


2、保障の基本は「社会保障」

日本には、公的な社会保障（医療保険、介護保険、年金等）が、いろいろあります。それらで足りない分を、保険等で補えばよいのです。

「保障」＝「保険」とイメージしがちですが保険は、もしものこと（リスク）がおこってはじめて保障されるものです。

いざという時に一番頼りになるのは、「現金」ですから十分な貯蓄があれば、必ずしも保険は必要ありません。



3、必要な保障を見極めましょう

保険や共済に加入する場合は、目的やタイミングを明確にしそれに合ったものに参加することが大切です

◆年齢や家族構成等、
人生の節目には
ライフプランに合わせて
保障の見直しをすることが大切です。



ライフプラン相談会
個人相談・要予約
【エフコープ ライフプラン相談会】
で検索！